

(3)
昭和八年

E-1860

0210

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

通商局

普通第三四六號

昭和八年四月十八日

在滿洲國

日本帝國大

別紙添付昭和八年四月廿四日接受

外務省
通商局御中

日本製茶滿洲國輸出振興方ニ關スル件

本件ニ關シ茶業組合中央會議所會頭中村圓一郎ヨリ別紙寫ノ通請願越
ノ次第アリタル處滿洲國當局ト交渉ノ必要上具體的事例ヲ詳細揭示申
來ル様前記會頭へ御傳達相成度此段申進ス

在滿日本帝國大使館





請願書

製茶滿洲國輸出振興ニ關スル件

滿洲國ニ於テ消費セラルル製茶ハ最近ノ調査ニ依レハ其數量年額實ニ壹千萬斤以上ニシテ殆ト支那茶ヲ飲用シ日本茶ノ輸入セルモノ極メテ僅少ナルノ状態ナリ滿洲國ト我國トノ親善ハ日々愈厚ク貿易モ亦逐次進展セントスルノ状勢ニアルハ日滿兩國ノ將來寔ニ慶賀ニ堪ヘサル所ナリ此時ニ際シ我當業者ハ日本茶輸出貿易ノ開始ヲ企劃セシモ滿洲國稅關ハ我輸出茶インボイス面ニ記載セル價格ヲ無視シテ高價ニ之カ査定ヲ行ヒ高率ナル從價稅ヲ課シ日本茶ノ輸入ヲ拒絕セムトスルノ態度ナルハ獨リ日本茶ノ輸出貿易ニ對シ頗ル遺憾トスルノミナラス他ノ輸

在滿日本帝國大使館

出品モ亦同様ノ課稅ヲ受クルモノアルヘクスクテハ日滿貿易ノ前途實ニ憂慮ニ堪ヘサルモノアリ依ツテ政府ハ速力ニ其實情ヲ調査シ適當ノ交渉ヲ遂ケ日本茶ノ滿洲國輸出貿易ノ振興ヲ期セラレ度茶業組合中央會議ノ決議ヲ以テ此段請願候也

昭和八年二月三日

茶業組合中央會議所
會頭 中村 圓一郎

駐滿洲國全權大使 武藤信義閣下

在滿日本帝國大使館

E-1860

02 13

5/1955

299

正

記
本邦ヨリ輸入ノ綠茶ニ關シ、當地袋詰工場長及専門技師ニ就キ尋ねタル結果左ノ通り。
オデッサ袋詰工場ハ昨年度ハ一月ヨリ九月迄作業シ、綠茶四千噸ヲ袋詰ニシタリ、綠茶ノ調合工場トシテ昨年同需要地方中心地タル「サマルカンド」ニ新工場ヲ開設シタルヲ以テ今年ハ同工場ニ於テ約ヤ千噸ノ調合袋詰ヲ行フ計畫ニ付、當地工場ハ綠茶ニ限スル作業ハ昨年ヨリ餘程減スルコト、ナレリ。
サマルカンドハ從來中亞人民ニ對スル茶供給ノ中心ニシテ、戰前大小十四ノ調合工場アリタルが、昨年以來新築ノ工場ニ集中シテ

在オデッサ日本帝國領事館

在オデッサ日本帝國領事館

通外經局
茶葉
課

昭和八年四月二十八日

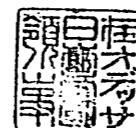
公商局
第一號

第二號

昭和八年五月廿貳日接便

在オデッサ

領事 田 中 文 一



對「ソ」聯邦輸出本邦釜茶ニ關スル件
本件ニ關シ、靜岡縣茶業組合聯合會議所ヨリ客月三十一日付第二〇二號ヲ以テ問合ノ次第有之タルニ付右ニ對スル左記回答轉報方可然御取計相成度右申進ス

301

302

地方民ニ對スル供給ヲ恢復シ便利ニスルコト、ナリ將來尙之ヲ擴張スヘク同工場行ノ綠茶ハ浦潮ヨリ西伯利並ニ新設ノツルクシブ鐵道ニ依リ送達スルコト、ナリ居レリ。

専門技師ノ言ニ依レハ中亞綠茶需要者ハ綠茶飲用者ノ常トシテ本邦人同様ニ茶ニ對シ非常ニ銳敏ナル感覺ト強キ嗜好ヲ有シ地方ノ風土特ニ水質ニ依リヤグリ茶ヲ他ニ變へ難シトスルモノナレハ釜茶即チ亞米利加式茶ハ同地方人民ニハ不向ニシテヤグリ茶ヲ釜茶ニ代ユル如キハ容易ナラサルヘシト。

中亞キ於ケル綠茶入供給ハ聯邦一般キ於ケル紅茶ト同様ニ非常ニ少メク現在ノ處需要ノ四分ノ一ニ及ハズ故ニ靜岡ノ釜茶及臺灣ノ綠茶モ之ヲ補足スル爲ニシテ右ハ主トシテ水管ノ良好

ナラサル西部平原各地方ニ、ヤグリ茶ハ東部山地ニ供給セラレ居ル趣ナリ。

右ノ如ク昨年キソウトノ側ノ靜岡釜茶及臺灣綠茶ノ買付ハ右ニ對スル新需要ノ發生又ハ中亞人民ヘヤコルホズヘソフホズニ働ク労働者トハ一般農民ヲ指スモノナリノ嗜好ノ變化ニ因ルモノニ非ス且價格ハ「アリ」茶ノ方低廉ナル由ナルヲ以テ右ハ物資缺乏セル地方人民ニ對スル供給ヲ増加スルノ必要ニ迫ラレ市場ノ狀況ニ顧ミ之カ買付ヲオシタルモノニシテ將來續行セラル、ヤ疑ハシクナシテノゾノ需要ノ綠茶ハ依然ヤグリ茶ナリト認メラル。

綠茶ノ需要ハ今後モ増加スヘクナシテノ製茶業ハ高架索ノ

在オデッサ日本帝國領事館

在オデッサ日本帝國領事館

敦

E-1860

02 15

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

茶カ未タ豫定ノ成績ニ達セサルヲ以テ茲數年中ニ綠茶ノ製造ニ着
手シ得ル見込少キヲ以テ綠茶ノ外國輸入ノ必要ハ漸少セサルベ
シ綠茶ノ輸入ニ當リ支那茶ハ本邦品ニ比シ尙未タ品質良好價格低
廉ナル由ニ付支復交兩國通商増進ノ今日ニ於テハ其競争ニハ注
意セサルヘカラス

尙本邦製綠茶ニ關シ専門技師ノ批評ヲ求メタルニ本邦製茶ハ非
常ニ進歩シ來レルモ今ノ處煙様ノ臭ノアルコトハ缺點ノ一々ナリ
トノコトナリ

在オデッサ日本帝國領事館

公信案

卷之三

老處在貴信中御記載，滿洲國稅
兵，我力輸出茶 = 特允態度 = 兵之其哭
係的軍例，詳細 = 勿知致度 = 有御
收調，上何為，儀御向年古事記

文書課發送	昭和八年五月九日	發送済	淨書
主 管	通商長	主 任	通商課課長
通二樓密	第 六三三號	昭和八年五月八日	昭和八年五月九日起草
普 通		附 日	附 屬
件 名	茶葉銀金中央會議所 會計中村國一郎 (芝延新橋三丁目三番地一三)	發 信 人 秉樞通商局長	正校(原稿)  (淨書) 
件 名	日本製茶滿洲國輸生振興方三款件	記 錄 件 件	
本件之款項請願相成失人 本件之款項請願相成失人	本件之款項請願相成失人 本件之款項請願相成失人	本件之款項請願相成失人 本件之款項請願相成失人	本件之款項請願相成失人 本件之款項請願相成失人
外務省	外務省	外務省	外務省

8 117

E-1860

02 16

E-1860

02 11

一 菊本國 = 對スル紅茶緑茶、總輸入額(千九百三十一千円)ハ
二七八、四九六キロ。價格 四、九六二、三二四エスクード(卸販時
價約八十万円) 内 緑茶 " 大体十六万エスクード(卸販時價
二萬七千円) 見考タル所シ
然シテ今見之菊東國 = 輸入セラル、緑茶ノ大半分ハ支那茶
ニシテ 北京緑茶ノ輸入ハ 非常少シ
二 菊東國開港 = 開シテ、支那緑茶ニヨリ東緑茶モ 共ニ最
低價率乃ナ一吉ニ付金六十八センタボス乃ナ時價十六エスク
ド、六十三センタボスヲ微セラル。
△、外二開港附加役トシテ開港、二割 又 海港税トシテ
△付十二エスクード、通商手數料トシテ 微收セラルノキ開港
額五百至一千エスクード = 對シ 六エスクード 千エスクード

(商) 會社
普通第七八號 昭和八年五月二十七日 在菊
特命全松公使 立開采
外務大臣伯爵内田康哉殿
記
卸茶、菊國市場ニ於ケル情況 = 前述件
大日本茶業組合其他卸茶取扱商人ヨリ菊國市場ニ於ケル
卸茶情況照會有之付茲ニ本件ニ關スル調査結果不
足報告又可細ニ查固相成度シ
記

菊國

昭和八年六月拾六日接承

會社

昭和八年五月二十七日 在菊

特命全松公使 立開采

記

記

四

五

六

七

八

九

十

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

二十六

二十七

二十八

二十九

三十

三十一

三十二

三十三

三十四

三十五

三十六

三十七

三十八

三十九

四十

四十一

四十二

四十三

四十四

四十五

四十六

四十七

四十八

四十九

五十

五十一

五十二

五十三

五十四

五十五

五十六

五十七

五十八

五十九

六十

六十一

六十二

六十三

六十四

六十五

六十六

六十七

六十八

六十九

七十

七十一

七十二

七十三

七十四

七十五

七十六

七十七

七十八

七十九

八十

八十一

八十二

八十三

八十四

八十五

八十六

八十七

八十八

八十九

九十

九十一

九十二

九十三

九十四

九十五

九十六

九十七

九十八

九十九

一百

一百一

一百二

一百三

一百四

一百五

一百六

一百七

一百八

一百九

一百十

一百十一

一百十二

一百十三

一百十四

一百十五

一百十六

一百十七

一百十八

一百十九

一百二十

一百二十一

一百二十二

一百二十三

一百二十四

一百二十五

一百二十六

一百二十七

一百二十八

一百二十九

一百三十

一百三十一

一百三十二

一百三十三

一百三十四

一百三十五

一百三十六

一百三十七

一百三十八

一百三十九

一百四十

一百四十一

一百四十二

一百四十三

一百四十四

一百四十五

一百四十六

一百四十七

一百四十八

一百四十九

一百五十

一百五十一

一百五十二

一百五十三

一百五十四

一百五十五

一百五十六

一百五十七

一百五十八

一百五十九

一百六十

一百六十一

一百六十二

一百六十三

一百六十四

一百六十五

一百六十六

一百六十七

一百六十八

一百六十九

一百七十

一百七十一

一百七十二

一百七十三

一百七十四

一百七十五

一百七十六

一百七十七

一百七十八

一百七十九

一百八十

一百八十一

一百八十二

一百八十三

一百八十四

一百八十五

一百八十六

一百八十七

一百八十八

一百八十九

一百九十

一百九十一

一百九十二

一百九十三

一百九十四

一百九十五

一百九十六

一百九十七

一百九十八

一百九十九

一百二十

一百二十一

一百二十二

一百二十三

一百二十四

一百二十五

一百二十六

一百二十七

一百二十八

一百二十九

一百三十

一百三十一

一百三十二

公 信 案

別紙(甲號用紙)

21 73

海外經濟事情

(昭和八年六月廿壹日發送濟)

文書課發送 昭和八年六月廿壹日發送濟

淨書

正(原稿)

枝

附

局書

通

主
管
通
商
局
長

第一
二
課

昭和
昭和八年六月廿壹日

附

局書

通

受信 農林省
人名 石藏農務局長室
件名 邦南
情況 蘭
件

發信 東稻荷
人名 茶葉
名 达

本件ニ關シ今般在蘭南小分使

通報告アリタルニ付爲御参考右茲ニ送付ス

(昭和八年五月廿壹日附在蘭)

別紙(原稿)

附

屬書

通

文書課發送 昭和八年六月廿壹日發送濟

淨書

正(原稿)

枝

附

局書

通

主
管
通
商
局
長

第一
二
課

昭和
昭和八年六月廿壹日

附

局書

通

受信 茶葉組合中央倉庫所
人名 金鉢中材四一郎

發信 東稻荷

人名

茶葉組合中央倉庫所

本件ニ關シ直接在蘭
人名

發信

人名

茶葉組合中央倉庫所

以テ今般同領事館ヨリ別紙寫入通回報アリタルニ付右茲ニ送付ス

別紙

附

屬書

通

(昭和八年五月廿壹日附在蘭)

別紙

附

屬書

通

公 信 案

海外經濟事情

文書課長	主 管 通 商 局 長	第一 二 課	昭和 昭和八年六月廿壹日	附
文書課發送	主 管 通 商 局 長	第一 二 課	附	別紙
(昭和八年五月廿壹日附在蘭)	(昭和八年六月廿壹日附在蘭)	(昭和八年六月廿壹日附在蘭)	(昭和八年六月廿壹日附在蘭)	(昭和八年六月廿壹日附在蘭)
公 信 案	公 信 案	外 務 省	外 務 省	外 務 省
文書課長	主 管 通 商 局 長	第一 二 課	昭和 昭和八年六月廿壹日	附
文書課發送	主 管 通 商 局 長	第一 二 課	附	別紙
(昭和八年五月廿壹日附在蘭)	(昭和八年六月廿壹日附在蘭)	(昭和八年六月廿壹日附在蘭)	(昭和八年六月廿壹日附在蘭)	(昭和八年六月廿壹日附在蘭)
公 信 案	公 信 案	外 務 省	外 務 省	外 務 省

E-1860

0220

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

八發第一六二號 昭和八年七月五日

茶業組合中央會議所
會頭 中村圓一郎 殿

外務省通商局長 來栖三郎 殿



日本製茶滿洲國輸出振興方ニ關スル件

標記ニ關シ五月八日附通普通第六五二號貴翰ヲ以テ御照會被下候
滿洲國稅關ノ我ガ輸出製茶ニ對スル態度ニ關シテハ請願當時ニ於
ケル滿洲國稅關ハ我ガ輸出製茶ノ滿洲國輸入ニ際シインボイス面
記載價格ヲ無視シ品質ノ如何ヲ問ハズ日本綠茶ハ支那產最高級綠
茶珍眉ト同格ニ日本紅茶ハ印度產最高級リブトン紅茶ト同様ノ價
格ニ見積り課稅セルヲ以テ滿洲國內ニ於ケル他國產製茶トノ競争
上不利ノ立場ニ有之候處其後調查ノ結果當事者相互ノ折衝諒解ニ
ヨリ昨今ニ於テハ右不當課稅ノ事實無之様ニ相成居候間左様御諒

茶業組合中央會議所

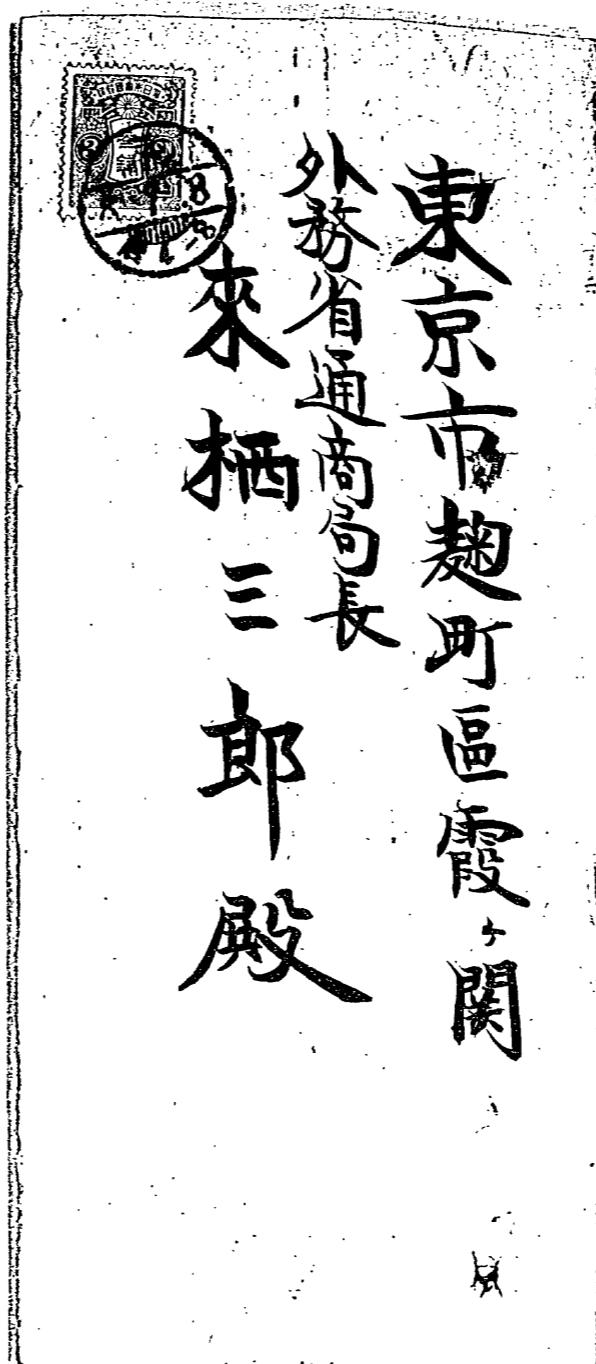
承被下度 尚將來ニ於テハ價格見積並課稅ニ不當ナキ様御注意方
御取計願度此段回答旁々御依頼申上候也

E-1860

0221

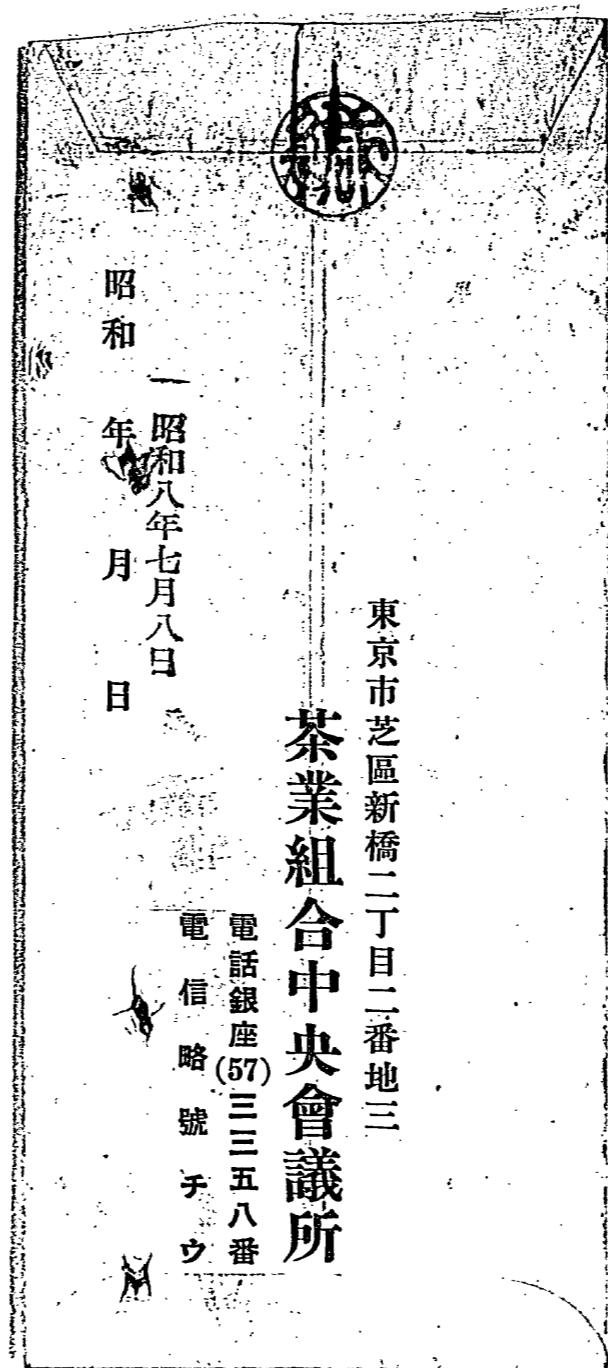
E-1860

0222



E-1860

0223



国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

E-1860

通商局第一課
文書課課長
昭和八年七月拾五日發送済

文書課課長	昭和八年七月拾五日發送済	正校(原稿)	(清書)
通商局長	第二課長	昭和八年七月拾四日附	昭和八年七月十二日起草
通二普通密	第二課長	正校(原稿)	(清書)
二〇號	通商局	附屬有	別紙
件名	件名	件名	件名
日本製茶滿洲國輸出振興方針及附件	茶葉及而已	茶葉及而已	茶葉及而已
本件之在本年四月十八日附多普通第三回			
外務省			
公信案			

14 25

0224

葉復中央會議所中村會頭宛及照會

重光子今般同倉致三別紙字一通

因答下之。行委曲如三步承奉上
の

故以爲多矣。比後甲子，進

昭和八年七月九日付芦苇第14号中央會議所

清江子

公信案

外務省

通商局

昭和八年七月十八日

總領事

卷之三

列傳大國伯爵大臣廉尹殿

本草集解卷之二十一

本件一函，本日附在坡西土原田領事代理先轉信諸公，并

一一五
易經一通鑑二周紀二紀三傳六爻

在アレキサン드리ヤ日本總領事館

昭和八年七月十八日
在アレキサンドリア
總領事 北田正元
外務大臣伯爵内田康哉殿
送付一件
本邦製茶状況ニ關スル宣傳用「ファイル」
本件ニ關スル本日附在坡西土原田領事代理先據信諸公井
一二五号寫一通茲ニ送付七月二付御查照相度シ

0228

諸公第一五號

昭和八年七月十八日

在アレキサンドリア

總領事 北田正元

在坡西土

領事代理 原田忠一郎

本邦製茶狀況ニ因スル宣傳用「ファイル」

送付一件

昭和七年十一月七日附通ニ普通合規一一九六號、趣旨ニ
連ヒ甲裏ニ茶葉組合中央會議所ヨリ海館ニ送付
趣アリタル標記活動寫眞「ファイルム」ニ登載館用済ニ付
今般當地出版、商工技師杉村盛一氏ニ托シ貴館ニ送

在アレキサンドリア日本總領事館

付ス可然御處耳相成度、本「ファイル」其后、送付先ニ付
テハ本省來信御查閱、上御處置相成度シ

本件寫送付先

外務大臣

在アレキサンドリア日本總領事館

E-1860

0226

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

E-1860

0220

在アレキサンドリヤ日本總領事館

此般同ホテル給仕半佐ヨリ刺紙要譯。通報
ナタルナガ农務報告。尚此趣茶葉組合中央
會議所可然。傳達相成度此般而依頼。達

牧

公 第二十九號
昭和八年七月二十日
在アンギサンドリア
總領事 北田正元
外務大臣伯爵及田康哉
本邦製綠茶見本ニ開スル件
昭和八年七月二十日附通ニ普通會計上。二號。以下
アリタル本件綠茶見本櫻及梅二種類ハ
某後藤常絢會長來會議所アリ接引セリ。付價直
慶祝日本國本邦
英皇御前、Windsor Palace Hotelニ就けシ被頒シ置キタル
提供シテ承
批判ヲ報告アリタキ旨被頒シ置キタル
在アレキサンドリア日本總領事館

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

由本製綠茶ニ就キ。

(十) 機シテ公衆ノ日本綠茶精行上機行ト。向ノ制般、差違
ヲ認ムサセカズ。

(十一) 然リ日本綠茶ハ之ヲ露西亞或ナリテ即チ牛乳ヲ入レバ
レトロニ及砂糖(時ニハラヒ酒ヲ加フ)ヲ用ヒテ飲ムトキハ
美味ヲ享シ、一啜ニ賞味セラルモノ如ク見度ケリ。

(十二) 航食ノ際牛乳ヲ交ヘテ興ヘタルガ好ミタルモ一船リト感シ。
中ト御食ト称スレ一東洋ハ厚ク日本綠茶ヲ求メタルカ、
是レ痕跡ヲ慰スル爲医薬代リニ用ヒタルモノニテ就寝前
又ハトランブレノ際ニ珊瑚代リトシテ愛用セリ。

(十三) 申宅ニ於テ峰巖ヲ交ヘ且懲ノシテ子供ニ與ヘタリニ大ニ
喜ヘリ、尚風邪ノ際ニモ之ヲ用ヒテ有効ナル結果得矣。
此英國人ハ如何イル方諸ノ以テスルニ好マサリシカ、佛國人ハ

在アレキサンドリヤ日本總領事館

六

之ニ支シ医薬ノ代用トシテ喜ンテ飲用セリ。

(十四) 塵及入ヘ牛乳ヲ用ヒス砂糖ヲヨリ分ニ入レテ愛用セリ。
依ソテ顧オノ若シ價格ヲ低廉ナラシメ宣傳ニ努カセバ、
アラビア人間ニ廣ク傳播普及スルコト在迄國難ナラサ
ルオジヤニ見合シテアル。

(十五) 緑茶モ亦煙草ト同様ニシテ例ヘハガニアセ煙草ニ馴
レタルモノハ、容易ニ代ノ煙草ヲ吸ヒ難キが如ク、緑茶ノ有スル
特殊ノ味モ之ニ馴ル也迄ハ相当時日ヲ要スルモノ也
「草其モ習慣ヲ附スルトキナヘテ之ヲ養不ルコト」伊豆國難モ
外如ク思考セアル。

(十六) 牛乳モ緑茶ニモ考究スベキ矣ナシトセズ、就中色ト
香ノニ異ナリ。

沖縄茶ノ色ガ支那茶・セイロン茶ノ如ク悪味ヲ多セザルハ

在アレキサンドリヤ日本總領事館

325

324

四

三

二

五

326

外國人、嗜好ニ適セズ、殊ニ牛乳ヲ交ヘタルトキト尙更	矣メ色美ナラスレテ快感ヲ興ヘガル所アリ。
水キ香葉布化基種類ノ如ク強カラサルハ欲求ト稱ス ヘタニ、蓋シ茶ハ鶴キ香氣アルコトヨリテ第一要矣ト スヤトナリ	以 上

在アレキサンドリヤ日本總領事館

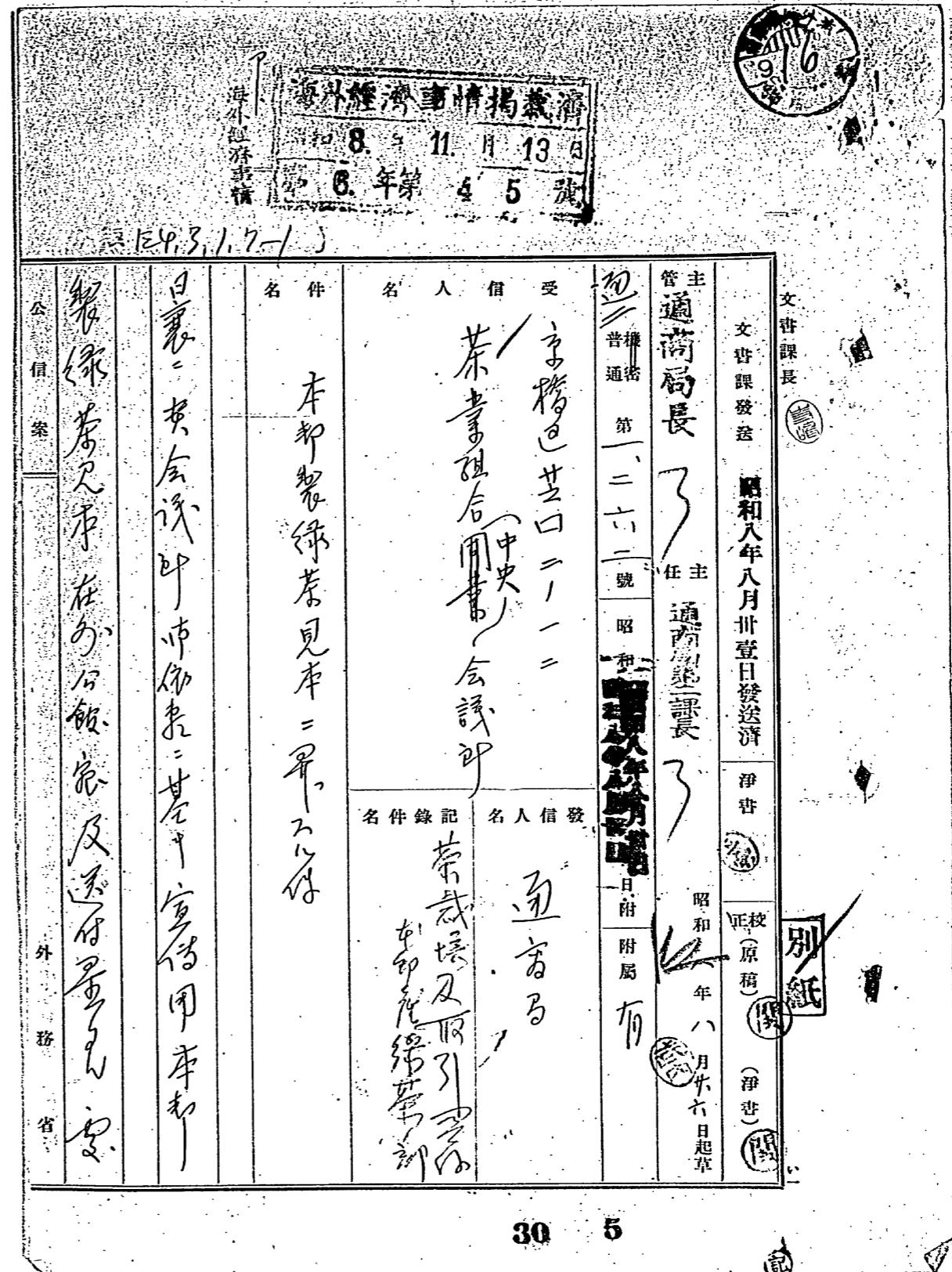
E-1860

0229

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>



E-1860

0230

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

今般在アレキサンダル地内移居事多
我穿入通報者有三名。併有新參者
右者二名。一
七月廿六日アレキサンダル地内有十九
該地房舍甚多。其後成一之新者也。

E-1860

0231

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>